

【行動目標】

道民一人30本植樹運動を実践しよう

結婚や子ども誕生記念などさまざまな機会に、植樹活動への参加したり自宅の庭などに木を植えるなど、身近なみどりづくりに参加しましょう。

私たちは、呼吸により生涯で6.4トンの二酸化炭素を排出しています。

道民一人が一生涯に呼吸により排出する二酸化炭素の吸収を新たな植林などにより確保できるよう、道民一人が一生涯に30本の樹木を植え育てることを目指します。

【道民一人30本植樹の効果】

道民一人が生涯(道民の平均寿命80年)に呼吸により放出する二酸化炭素は、炭素重量で6.4トンで、その二酸化炭素を全て吸収するために必要な樹木の本数は、約30本になります。

現在の道民560万人(平成19年)一人ひとりが『道民一人30本植樹運動』に取り組むと・・・

- ・今後5年間で1,000万本、札幌ドーム約2,000個分(面積)の森林を育てることに相当します。

1ヘクタールあたり1,000本の植樹、札幌ドーム約5ヘクタールで換算

- ・植え育てた樹木が1年あたりに吸収する二酸化炭素の量は、全道民が1年間に家庭から排出する二酸化炭素量の約0.03%に相当します。

5年間で植樹した1,000万本の樹木が吸収する二酸化炭素量は1万トン(炭素換算)で、

1年あたり2,000トン(炭素換算)

全道民が1年間に家庭から排出する二酸化炭素は614万トン(炭素換算)

【行動メニュー】

自宅の庭や所有地などで樹木を植え育てる
植林イベントや森林ボランティア活動に参加する
植林イベントを企画・開催する

【取組の機会(機会づくり)の例】

<家庭>

- ・結婚、子ども誕生、受験合格、就職、成人、還暦などの人生の節目に
- ・結婚記念日、家族の誕生日、などの記念日に
- ・自然とのふれあい行動の一つとして など

<地域>

- ・学校行事や授業の一環として
- ・町内会の行事として
- ・企業等の環境貢献活動の一つとして など